

# 医事法

## 4. 感染症対策と保健法規 (その1)

7階第5研究室

江原朗

(第5章参照)

# 感染症をめぐる現在の状況

- 世界の感染症患者
  - HIV感染症：2009年に3300万人
  - エボラ出血熱、マールブルグ熱：
    - 致命的
  - SARS：2003年に流行。
  - 再興感染症、多剤耐性結核菌など

# 感染症対策

- 隔離
- 移動制限
- 消毒

しかし、人権侵害の可能性

# 感染症対策と報告義務

- 患者に接した医師に報告義務
- 患者に対する強制的な治療
- 患者の行動の追跡
- 効率的、安価な治療の実施

患者よりも予防・社会防衛が優先

# 感染症対策の歴史的な反省

- 1996年に廃止された「らい予防法」
- 感染力が弱いにも関わらず隔離政策が続けられた。
- 時には断種手術が実施されたこともあった。

(朝日新聞、2011年1月27日による)

# 感染症予防法(1998年)

- 伝染病予防法、性病予防法、エイズ予防法を統合
- いわれなき差別や偏見があった事実を反省
- 目的
  - 感染症患者等の人権の尊重
  - 良質かつ適切な医療の提供

# 感染症予防法の改正

- 平成18年に感染症予防法改正
- 結核対策も感染症予防法で実施
- バイオテロ対策にも適用
- 病原体の保持に関しても規制を行う

# 感染症の分類(1)

- 1類感染症: 感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
  - エボラ出血熱 クリミア・コンゴ熱 痘瘡 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱

# 感染症の分類(2)

- 2類感染症: 感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
  - 急性灰白髄炎(ポリオ) 結核 ジフテリア
  - ア )重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る) 鳥インフルエンザ(H5N1)

# 感染症の分類(3)

- 3類感染症：感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
  - － コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症  
腸チフス パラチフス

# 感染症の分類(4)

- 4類感染症：動物又はその死体、飲食物、衣類、寝具その他の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれのある感染症
  - E型肝炎 ウエストナイル熱 A型肝炎 エキノコックス症 黄熱  
オウム病 オムスク出血熱 回帰熱 キヤサヌル森林病 Q熱  
狂犬病 コクシジオイデス症 サル痘 腎症候性出血熱 西部  
ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病  
デング熱 東部ウマ脳炎 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ  
(H5N1)を除く) ニパウイルス感染症 日本紅斑熱 日本脳  
炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症  
ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス  
ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染  
症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症 レプトスピラ症  
ロッキー山紅斑熱

# 感染症の分類(5)

- 5類感染症：国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民や医療関係者等に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
  - アメーバ赤痢 ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く) クリプトスポリジウム症 クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 後天性免疫不全症候群 ジアルジア症 髄膜炎菌性髄膜炎 先天性風しん症候群 梅毒 破傷風 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 風しん 麻しん RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん 百日咳 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 性器クラミジア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 尖圭コンジローマ 淋菌感染症 クラミジア肺炎(オウム病を除く) 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌性髄膜炎はのぞく) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性アシネトバクター感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症

# 報告義務

- 1類感染症 : ただちに届出
- 2類感染症 : ただちに届出
- 3類感染症 : ただちに届出
- 4類感染症 : ただちに届出
- 5類感染症の一部 : 7日以内に(麻しん・風しんはできるだけ早く)届出